

勝手に決めるな！

京都府は被害地元であるにもかかわらず、
原発の再稼働に対し意見を述べるできません。



高浜原発で福島事故と同程度の事故があった場合の SPEEDI による被曝線量予測 (3月の風向きでヨウ素について)

安全に避難するなんて無理です。

地元選出の議員さんに不安の声を届けてください。

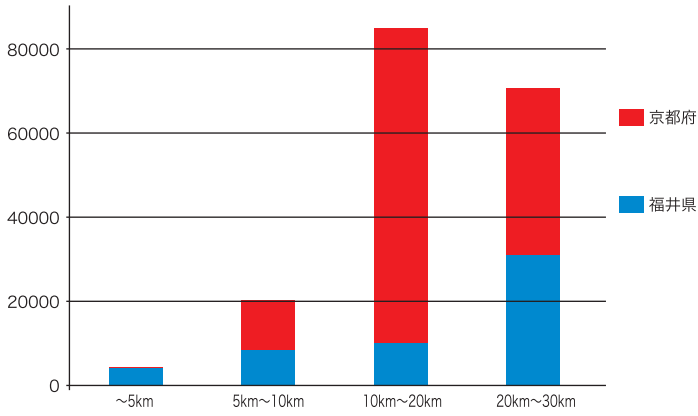


このまま手続きが進行するのを
黙ってみててもいいの？

京都の原発防災ってどうなってるの



京都は被害地元です



高浜原発から30km圏内の人口を比較すると京都府は福井県の約2倍。立派な「被害地元」です。それにもかかわらず、関西電力は京都府との間に立地自治体並みの安全協定を締結しようとしません。癒着を残したいのです。

事故は起こり得ます



事故は起こり得る！——それがフクシマの最大の教訓です。田中俊一原子力規制委員長も「絶対安全っていう意味で安全ということを言われるのであれば、それは私どもは否定してません。」とはっきり述べています。

安全に避難するなんて無理



知事たちも今のままでは責任が持てないと言っています。「これまで関西広域連合では広域避難対策の調整を行い：取り組みを進めている。しかしながら、避難対策に関しなお数多くの課題が残され：新たな課題も生じている。：再稼働を容認できる環境にはない。」(14年12月25日 関西広域連合から国への申入れ)

世界遺産も台無しに・・・



長い歴史に育まれてきた風土や伝統文化。お茶や観光など地域産業の多くがそれらに根ざしたものです。一たび放射能に汚染されてしまったら：もう二度と取り返しがつきません。そんな危険な賭けに踏み出してしまった本当にいいのでしょうか？

再稼働にNo!の声を